

Startup×テクスタ宮城
マッチングイベント
goose

第1回: 暮らしの医療×モノづくり

変わる医療 変える医療

参加
申込みは
こちら



2024

2.21

WED.

ピッチ 15:00～17:00 〈参加費〉 無料

交流会 ピッチ終了後1時間程度 〈参加費〉 1,000円

会場 青葉山公園 仙臺緑彩館 [現地開催のみ] 〒980-0863 仙台市青葉区川内追廻無番
TEL: 022-266-1651



※本事業は、宮城県から日本コンベンションサービス株式会社が受託しています。

お問い合わせ

E-mail: info_techsta-miyagi_match@convention.co.jp
TEL: 022-722-1311

「goose」とは

ABOUT

テクスタ宮城 goose とは宮城県の県鳥である「雁」からインスピレーションを得てイベントタイトルになりました。

雁は群れでV字フォーメーションで飛ぶことで知られており、この特徴を活かし、スタートアップ企業が次々に大空へ飛び立ち、新たな挑戦に成功していく願いを表現しています。

スタートアップ企業や構成企業、地域企業との連携の象徴とし、宮城から全国へ、そして世界へと羽ばたくオープンイノベーションの起点として是非ご参加ください。

登壇者

SPEAKERS

※番号は登壇順になります。

① 15:05 ~ 15:25



東日本電信電話株式会社

宮城事業部 ビジネスイノベーション部 担当部長

中野 郷 氏



タイトル/ 診療カーによるオンライン診療サービスの取組について

2023年度、仙台市医師会・仙台市等と共に、看護師が医療機器を搭載した診療カーを用いて、診療所から離れた患者を訪問・診療補助するオンライン診療を一部地域にて開始しました。対面診療に遜色のない医療を提供するため高精細映像による問診、電子聴診器による聴診を中心としたオンライン診療の取組について紹介します。

略歴/ 1998年 入社。法人営業分野における営業・企画に従事
2011年 山形県内の自治体を中心とした営業活動を通じ地域のICT化を推進。
2018年 本社にてNTT東日本全体の自治体向け販売戦略を立案するなど、地方創生に携わる。
2022年 現職に着任し東北地域のまちづくりを推進中。

② 15:25 ~ 15:40



株式会社 J P ステート

代表取締役

佐藤 政博 氏



タイトル/ 医療のDX: 電子聴診解析システムの提案

平成23年3月、東日本大震災の後に有機圧電フィルムを活用した電子聴診器の開発に着手しました。東北大学後藤順一先生がプロジェクトディレクターを務めた「知と医療機器創生宮城県エリア」に参画しました。サポートを受け、医療機器認証を取得しました。経営判断により、事業譲渡されてきましたが、開発メンバーと共に起業しました。市場の動きも活性化し事業もアーリーステージからミドルステージへの段階にあり、更なる事業拡大を目指します。

略歴/ 1984年3月 (株)倉元製作所(宮城県栗原市)入社。品質管理部配属。LCD用硝子基板加工事業に従事。国内4拠点、SCHOTT社(ドイツ)と韓国に設立した弁会社、全生産拠点の品質管理・品質保証業務を総括。
2011年1月-2016年7月 新事業開発部 部長。有機圧電デバイス開発に従事。
【PL従事履歴】平成22年度 地域イノベーション創出研究開発事業(経産省)
平成23年度 震災復興技術イノベーション創出実証事業(経産省)
平成25年度 A-STEP/ハイリスク挑戦型(復興支援型)事業(文科省)

③ 15:40 ~ 15:55



株式会社 I F G

代表取締役

森 和美 氏



Institute of Field Generation

タイトル/ ダーウィンの海にもまれて

2005年より東北大学医学部および流体科学研究所と磁気刺激装置の研究開発を実施し、2015年に医療機器として認証を取得しました。これまでの経験を踏まえて弊社の技術を活用した経営について紹介します。

略歴/ 日本興業銀行(現みずほ銀行)を経て、父が設立した株式会社IFGに入社。
2007年 代表取締役就任。
2012年 科学技術振興機構の研究開発最適展開支援プログラム(A-STEP)ハイリスク挑戦タイプでプロジェクトリーダーを担当。
2児の母でもあり仕事・子育てに奮闘中。

④ 16:10 ~ 16:25



株式会社 CERCIT

代表取締役

横川 裕大 氏



タイトル/ 教育から医療を変える

株式会社 CERCIT は東北大学の医療教育施設を基盤とし「新たな医療福祉教育の創造と普及を通じて、全ての人の学びと健康に貢献する」という理念を掲げ、医療現場で診療や教育にあたる医師が中心となって設立しました。医療教育のノウハウと課題を抱える医療・教育現場とのつながりを活かし、市民や医療従事者を対象とした医療研修や、医療教育用教材の開発と販売などの事業を展開しています。事業内容や今後の展望についてお話しします。

略歴/ 2014年 東北大学医学部医学科卒業
2016年 東北大学病院救急科入局 宮城県内の救命救急センターに従事
2021年 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野修士課程修了
東北大学大学院医学系研究科博士課程入学
2022年 株式会社CERCIT設立、代表取締役CEO
救急科専門医・集中治療専門医・日本DMAT隊員・各種救急蘇生コースのインストラクター

⑤ 16:25 ~ 16:40



株式会社 コスモウェブ

ゼネラルマネージャー

赤間 清喜 氏



タイトル/ 医療機器分野への参入取組みと参入後の課題

株式会社コスモウェブは電子機器等の受託開発設計製造及び卓上型ロボット・自動機の設計製造を生業とする会社ですが、第3の事業の柱にすべく、関係各方面のご支援をいただきながら、自社製品として医療機器の開発を行い、医療機器分野へ新規参入いたしました。当社の技術、当該製品のご紹介、参入の背景・動機、公的機関からの支援補助や参入後の課題、苦労話、そして参入して良かった点なども交えながら、事業内容や今後の展望をお話しいたします。

略歴/ 2012年 株式会社コスモウェブ 入社
電子機器、卓上ロボット等の受託開発設計製造案件の営業業務従事
2016年頃 医療機器の事業化のために「マルチ呼吸機能測定装置」の販売に向けた営業業務にも従事し現在に至る

⑥ 16:40 ~ 16:50



東北大学ビジネスアイデアコンテスト 2023
<優秀賞、ものづくり部門賞(宮城県知事賞)> 受賞者

Equality
CTO

奥山 洋之 氏

Equality

タイトル/ 生理の「困った!」を解決する経血検知デバイス『Leak-Leak』

女性にとって、生理は毎月約7日間訪れる、避けては通れないものです。生理期間中、多くの女性が生理用ナプキンを使用していますが、現在のナプキンでは交換の指標がなく、常に「漏れるかも」という不安が付きまといまいます。『Leak-Leak』は検知機械と通知アプリがセットの商品です。ナプキンと下着の間に検知機械を取り付けることで経血の漏れを事前に予測し、スマートフォンに通知を送ります。この機器の使用により、生理中の経血の漏れへの不安を軽減し、鬱々とした日々の中でも「日常」を送れるよう支援します。

略歴/ 2023年3月 東京都立戸山高校卒業。同年4月に東北大学理学部物理学科に入学
6月 同級生有志4人でEqualityを結成。
11月 日本最大級オリジナルハードウェアコンテストGUGEN2023本選出場を果たし、翌月の東北大学ビジネスアイデアコンテストでは優秀賞、ものづくり部門賞、スポンサー賞を受賞。

問い合わせ先

宮城県経済商工観光部
新産業振興課スタートアップ支援班

TEL : 022-211-2779 E-mail : shinsansu@pref.miyagi.lg.jp

日本コンベンションサービス株式会社 東北支社

TEL : 022-722-1311

E-mail : info_techsta-miyagi_match@convention.co.jp



テクスタ宮城 HP